

製品名: 4E-BP1 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80568**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.03%アジ化ナトリウムを含む PBS。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	/

抗原情報

遺伝子名	4E-BP1
別名	BP-1; 4EBP1; 4E-BP1; PHAS-I; MGC4316; EIF4EBP1
遺伝子 ID	1978.0
SwissProt ID	Q13541
免疫原	大腸菌で発現した 4E-BP1 の精製された組み換え断片。

背景

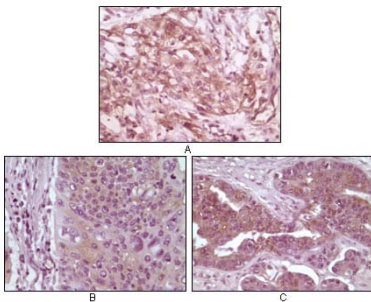
4E-BP1（真核生物翻訳開始因子 4E 結合タンパク質 1）は、ELF4EBP1/BP-1/PHAS-I と呼ばれ、染色体 8p12 に位置し、118 アミノ酸（約 13kDa）からなるタンパク質です。eIF4EBP1 と eIF4E の結合は可逆的であり、eIF4EBP1 のリン酸化状態に依存します。リン

酸化されていない eIF4EBP1 は eIF4E (24kDa) に強く結合しますが、リン酸化されている eIF4EBP1 は eIF4E に強く結合しません。Akt、TOR、MAP キナーゼ、S6 キナーゼ、および Cdc2 は、スレオニン 35、45、69、またはセリン 64 をリン酸化することによって eIF4E に結合する eIF4EBP1 を不活性化できる既知のキナーゼです。ただし、すべてのリン酸化イベントが eIF4EBP1-eIF4E 相互作用を同様にブロックするわけではありません。

研究分野

PI3K-Akt シグナル伝達経路、mTOR シグナル伝達経路

画像データ



パラフィン包埋ヒト膵臓癌 (A)、食道癌組織 (B)、および卵巣腫瘍組織 (C) の免疫組織化学分析。DAB 染色による 4E-BP1 マウス mAb を使用して細胞質および膜の局在を示しています。